

◎ 人権が尊重される社会を築くために、どのようなことが必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

- ・子どもたちは、差別や偏見といったことはないので、周りの大人たちが間違った考えや行動をしないこと、教えないことが大事。
- ・福祉サービスの情報を流し、一人でも悩むことなく相談できる場所があることを紹介する。
- ・地域コミュニティの不足。多くの人と会って話ができる環境を作る。昔のように、祭など催し物を行うのもよい。
- ・学校教育を強化する。小・中学校の人権学習で差別について学んだ。未来を担う子どもたちにも、授業で学び考える機会があれば、人権が尊重される社会になるのではないかな。学ぶ機会が必要。
- ・小学校の頃から繰り返し、人権問題に対する教育を続け、身近にある問題であることを認識させ考えさせる。
- ・人権侵害の厳罰化。加害者をなくし、再教育できる社会を作る。
- ・同和問題は高齢者の問題で、もう遅いのではないかな。学校や職場での人権侵害が問題である。行政ができるのは、人権が侵害された方への心のケアや居場所づくりではないかな。
- ・インターネットによる人権侵害をよく目にする。悪質なアプリ等に起因するものは、積極的に法律で規制すればよい。
- ・人権を自分自身にかかわる身近な問題としてとらえて、気づき、考え、行動することが大切。
- ・正しい知識や対応等、困ったら学べる場所や相談できる人がいたら心強い。
- ・人々の、意識意識改革（人権についての教育・学習の充実）、法律や制度を整える（男性の育休取得率の向上、復職しやすい環境づくり）、子育てしやすい社会づくり（“お母さんが頑張らなくてはいけな”との意識が強い）、SNSなどでの人権侵害の厳しい取り締まり。
- ・住民から相談や通報があった際に、行政はもう少し敏感に動いた方がよい。上からの指示や、マニュアル通りに動いているだけで、親身になって寄り添っていない。
- ・障害のある人に対する不当な扱いをなくす。障がいのある人に対する理解が不十分である。
- ・最近、少数を尊重しすぎて、多数が負担を強いられる状況が多いように思う。道徳・道義・一般常識や感情など様々な事情を加味しつつ、人権が考えられるべき。
- ・道徳の授業の充実を。
- ・子どももお年寄りも女性も障がいのある人も全ての人々が大切な命をもつ、大切な個であると思う。過去の習慣にとらわれない、ありのままの個を認め合いたい。
- ・ネットにせよ何にせよ、格差が拡大して、社会的弱者が、自分より弱い立場の外国人や障がい者を叩いて差別する社会的構造が出来上がっている。この歪んだシステムを変えないといけない。
- ・幼少期から、男女の別はこうあるべきといった固定観念を持たない。個々の個性を大切にする考えを普通に持てる、過ごせる環境になればいいと思う。幼稚園・小学校レベルから、男の子の色、女の子の色といった男女差別を意識するような考えを植え付けない。
- ・社会的指導者が、常にその意識で心がけることが第一歩だと思う。
- ・人権を脅かしそうなものを摘発し、人権を守るための取り締まり機関を創設する。
- ・もし自分が被差別の立場だったらと思うと、たまたま生まれた場所が違っただけで、本人の責任ではないので理不尽だと思う。互いに相手の立場で考えればいいと思うが、難しいのだろうと思う。

- ・一人一人が幅広く、世の中で起こる人権に関することに関心を持ち、正しい知識と問題意識をもつことが必要。
- ・まず、国民全体が豊かになり、経済的にも余裕がもてるような社会システムを構築することが大切。経済的に豊かでなければ、他人の権利を尊ぶ余裕は生まれないのでは。
- ・学校教育を充実させ、人権についての授業を増やして、差別等について考えるようにすればよい。
- ・一般常識、当たり前とされていることを見直す。人権を守ることがなぜ大切なのかを学校でもっと教育する。
- ・人権問題は、被害者・加害者と二つに相對するものと考えられているように思う。それぞれが逆の立場になることもあると思う。視点を広げすぎかもしれないが、「“人”として、どうあるべきか？」と一人一人が考えることで、相手の立場も考えられるようになり、一つの事柄で対立しあっているように見えて、互いに人として真剣に事柄に向かい合っているだけということに気付けるようになるのではないか。人は人として、もともと仲良しであり、そうでなくなっている時には、何かそれぞれに見落としているものがあるのではないか。
- ・互いを尊重し合う教育が必要。保守的な愛媛では、特に小学校では、みんなと同じでない仲間外れとなる。他県、他地域からの転校生は、特に気を付ける必要がある。いじめが差別になり、人権問題になり得る。
- ・幼い時から当たり前だと思っていると、大人になって無意識に人権を侵害してしまっていることがある。色々な人がいるので、どんなサポートが必要なのか。人権のことで困ったことがあるとき、誰に相談すべきか、対応できる場所があればいい。
- ・生活上のあらゆる場面で、本人も気付かないうちに人権にかかわる問題に触れているのだと思う。気が付いていないので、そのままスルーして、課題だけが残されたままになる。課題であると認識するきっかけが必要なのではないか。

◎ 人権教育巡回学習会や人権教育基礎講座など、砥部町が主催する学習会や講座に多くの方に参加していただきたいと思います。どうすれば参加しやすくなると思いますか。ご意見をお聞かせください。

- ・テーマを明確にして、参加目的意識を高くする。各種の団体の各構成員への反強制的な参加を通して、受講することの重要性を体感してもらう。
- ・マナー化を防ぐ。
- ・学習会があるのを知らない。広報活動の充実。宣伝カー。有名人や芸能人を呼ぶ。
- ・平日の参加は難しいので、土日に開催する。
- ・参加者には特典を与える。(ポイント券、プレゼント、住民税の減免)
- ・参加報酬型のイベントにする。
- ・半ば強制的に参加を促す。
- ・地区ごとに推薦してもらった人に参加してもらう。
- ・映画とか演劇鑑賞とかで学習すれば、気楽に参加で出来るのでは。
- ・まじめ過ぎてつまらない。会社や各種の団体に協力してもらう。
- ・引き続き「広報とべ」に記事を掲載してほしい。自分の時間に、自分のペースで学びたい。
- ・分かりやすい身近な問題を中心にする。有名人を講師に呼ぶ。他の行事の中で、短時間で行う。

- ・オンラインにする。インスタライブをする。砥部町の公式ラインアカウントを設け、友だち追加をしてもらうように呼び掛ける。
- ・高齢になると、夜間や遠方は難しいので、地域の集会所で行ってほしい。
- ・お茶を飲みながらとか、何か工夫をしながら、気楽に立ち寄れる雰囲気学習会にする。
- ・少人数で座談会的にして回数を増やす。
- ・他のイベントと同時に開催する。
- ・子どもと一緒に気軽に参加できるようにする。(保・幼での啓発のために、アニメや動画で伝える)
- ・各地区に出向いて、短時間での学習会を企画する。
- ・地域の集会所で、各種団体に声を掛け参加を促す。
- ・関心のある講座を選べたり、体験者の声を聞けたりすればいい。一方的に聞くのは、少ししんどい。
- ・格差が広がり、みんな他人を蹴落として生きるのに必死なのだから、その社会構造を変えないと、そもそも学習会などに来るだけの時間的、精神的かつ経済的な余裕がない。
- ・寸劇、落語、児童生徒の出し物、映画の上映など。
- ・人権と名がついていると人が集まらない。楽しいし、勉強にもなるという内容ならいいのでは。
- ・マンション等に住んでいる人にも資料等が届くような方策をとる。
- ・テレビやラジオなどで、積極的にコマーシャルをしたり、参加した人の意見などを同時に情報として流したりする。
- ・リモートなどを導入する。
- ・個性を尊重し、個々人にあった学びの場や学びの時間を確保するよう義務化する。
- ・芸術文化フェスタや砥部町主催の他の活動のときに研修会を開催する。
- ・人権教育基礎講座を同じ曜日の開催にしないほしい。
- ・「広報とべ」はある程度の人を読んでいると思うので、これをもっと具体的に分かりやすくPRする。
- ・講座・学習会・研修会など、ネーミングをもっと考える。
- ・学校や幼稚園、保育所などと協力して、アプリやメルマガなどで情報発信をする。SNSを活用する。
- ・恥かしながら、日々を暮らす中、広報誌に目を通すことなく、人権問題も“他人事”のように過ごしている。広報誌に開催日・場所等掲載し、できれば夕方の地域の放送などで伝えてほしい。
- ・巡回学習会や基礎講座で学ぼうという意識の人は少ないと思う。参加人数のみを求めるのではなく、大切なことを伝えていくことしかないと思う。伝え方は集会型ではなく、ほかに何か有効な方法はないものか。
- ・広報以外の方法で知らせる方法を考える。
- ・巡回学習会では、10歳刻みの少人数での本音を聞いてほしい。20歳代と80歳代とでは、同じ土俵では意識が違いすぎて、議論にならない。特に同和問題では。
- ・子どもの人権についてママ友の会で、“ベビーマッサージ”をしながら学べたり、“ハイハイレース”を催して、子育て世代を集めたりして、その場を活用する。砥部焼のアクセサリーがインスタでも流行っているので、若い女性を集めることができると思う。子育てもママの仕事のように考えられているが、パパだけ集めるイベントを実施して、子育てをしているパパの意見を集める。
- ・自分だけ良ければいいという考え方がいけない。ロシアによるウクライナ侵攻に“人権”などない。日本も同じことを過去に行ってきた。「ウクライナの人の身になって考えてみませんか」のように、テーマを絞り込んで、考えていくことが大切だと思う。
- ・「勉強させられる」と思うと誰も参加する気持ちがわいてこない。「知りたい」という本人からの意欲を駆り立てるテーマ設定が大切。

◎ 町の人権教育についてご意見やご要望、お考えがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・子どもから大人まで一緒に学び、家庭で話し合えるようにする。ほかの楽しいイベントと一緒に開催する。
- ・同和問題だけでなく身近な人権問題も扱ってはどうか。
- ・小・中学校で子どもやPTAでしっかりと学習する。
- ・LGBTの方を受け入れるような教育はやめてほしい。LGBTを増加させかねない。社会がおかしくなってしまう。LGBTの人は堂々と生きてほしいが、それを応援することは間違っている。
- ・活動内容が住民に見えていないのでは……。広報活動に力を入れる。
- ・教育の負担が大きすぎる。
- ・ますます人権教育が大切になると思う。今以上に力を入れてもらいたい。
- ・常識的に考えるとLGBTQが尊重されるべきと、そうでない場合がある。一方的に少数派を尊重しないといった教育は視野を狭めることになるのではないか。広い視野をもち自分で考え、判断できるような教育をお願いしたい。
- ・講師の話がもっと具体的であればいい。
- ・子ども食堂のように、高齢者を対象とした食堂があれば助かる。高齢者の人権尊重にもつながる。そこで働く場所なども紹介する。
- ・様々な理由で生き辛さを感じている人がたくさんいると思う。自由に学びの場を提供したり、自分のペースで働いたりできる環境が整っているといいと思う。資格や免許がなくても、最初に教育し普段も見守っていられば、どんな人も輝けると信じている。生きている間は、人のため、自分のためにみんなが活動できるといい。
- ・よく努力して教育や啓発を行っていると思う。
- ・砥部町は古い考え方や因習が残っている地域なので、よい所は残して、不要なものはやめていくべき。
- ・今回アンケートを受け取ったことで、私も今まで関心をもつことなく過ごしてきたということが自覚できてよかった。同じように思っている人が、ほかにもいると思う。気持ちを同じくする者が集まると、何か前進するのではないか。
- ・人権問題で困っている人がアピールできる場があればいい。人権という固い言葉でなく、障がいのある人や高齢者の情報などがあると嬉しい。

貴重なたくさんのご意見、ありがとうございました。